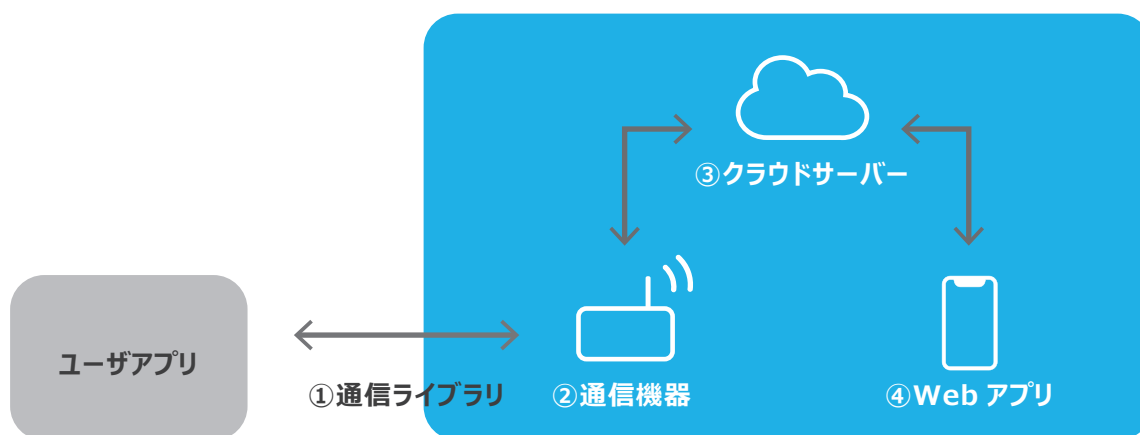


IoT システム開発時に必要な 通信機器、クラウドサーバー、WEB アプリをワンパッケージ化 ユーザアプリケーションの開発に注力できる環境を提供します



1 通信ライブラリ

ユーザアプリケーションと②通信機器を接続するためのソフトウェアライブラリです。

Arduinoなどで開発されたユーザアプリケーションと ReCotto-GP 接続をノーコード開発で実現します。

2 通信機器

ユーザアプリケーションと③クラウドサーバーを LTE 網を介して接続するハードウェア式です。

通信方式には LTE Cat.M1 を採用し、通信回線は docomo 社の携帯電話網を利用しています。

3 クラウドサーバー

②通信機器を介してユーザアプリケーションから得られるデータを格納するデータサーバーを用意しています。

IoT 開発時に最も時間と工数が掛かってしまうクラウドサーバー環境をノーコード開発で実現します。


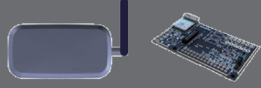
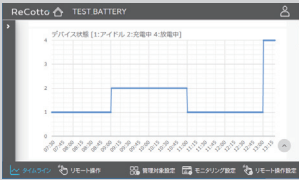

クラウド環境は AWS のサービスを利用しています。

4 WEB アプリ

③クラウドサーバーに格納されたデータを描画したり、スマホやタブレットなどから制御することができる

標準インターフェイスをパッケージに加えています。PoC などスピーディに提案や開発を進めたいシーンで

ユーザアプリケーションの訴求点を分かりやすく表現します。

		ReCotto Single	ReCotto Multi
			
セット構成	ハードウェア	ゲートウェイ：1台、LTE アンテナ：1本	ゲートウェイ：1台、LTE アンテナ：1本 ゲートウェイ用ケース：1個、 エッジ：5台（最大30台まで提供可能）
	SIMカード	貸与（デポジット制）	
	クラウドサーバー	最大2GB	
	WEBアプリ	WEBブラウザで閲覧、操作可能な標準環境を提供 縦軸：被測定対象、横軸：時間のグラフをローコード開発で描画 	
	通信ライブラリ	ユーザアプリケーションソフトに実装する通信用ライブラリを提供 2stepで通信処理ソフトウェアの実装が完了 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>構造イメージ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>開発フロー</p> <ol style="list-style-type: none"> 0 アプリケーションソフトの開発 1 ReCotto 通信ライブラリ追加 2 通信処理ソフトの開発 <p>開発完了</p> </div> </div>	
通信方式	ゲートウェイ ⇄ クラウドサーバー	LTE Cat.M1	
	エッジ ⇄ エッジ	-	BLE5
ユーザアプリケーション インターフェース		UART ユーザアプリケーション：Arduino Raspberry Pi など	
エッジ間の通信距離		-	約50m（接続環境に依存）
クラウドとの通信間隔		約5秒	最短5秒（接続台数に依存）
クラウドからの制御 WEBアプリケーションからの操作		可能	可能（ユーザアプリケーション毎に制御可能）
接続可能な最大エッジ台数		1台	30台（標準セット構成は5台）
電源		ゲートウェイ：5.0v （ユーザアプリケーションまたはUSB接続で供給可能）	ゲートウェイ：5.0v （ユーザアプリケーションまたはUSB接続で供給可能） エッジ：3.3v （ユーザアプリケーションから供給）
価格*	初期費用	53,000円	103,000円
	月額利用料	10,000円/台	15,000円/5台

* 状況により予告なく変更する可能性があります。